



キク編

病害虫注意報 2023年1月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

ハダニ類の発生に注意しましょう！

生態 ▶ 発生適温 20～30℃。

25℃条件下では卵～成虫までの期間が約10日。1雌の産卵数は

100～200卵！ → 増殖力が高い！

▶ **湿度** 乾燥条件で多発しやすい。

▶ **特徴** 繁殖力が高く、発育期間が短いため **薬剤感受性が低下した個体**が発生しやすい。

対策

▶ **発生場所の把握**

圃場内で乾燥する場所を把握する。

暖房機、出入り口付近は乾燥しやすいので注意する。

▶ **薬剤散布**

葉裏まで付着するように散布する。

RACコードの異なる剤をローテーション散布する。



⇒ **早期発見、対処が肝心！**

今月のおすすめローテーション

地域の防除事例を基に作成しています(輪菊栽培)。品種、栽培条件によっては薬害が発生する場合がありますためご注意ください。さらに展着剤・葉面散布などを加用する場合もご注意ください。

時期	RAC	対象病害虫	薬剤名	希釈倍数	使用時期	回数
定植時	P02	白さび病 予	inochioキクツチャ粒剤	6～9kg/10a	定植時	1回
生育初期	UN, M03	白さび病 予	ジマンダイセンフロアブル	500～800倍	-	8回
	20D	ナミハダニ	マイトコーネフロアブル	1,000倍	開花前	1回
消灯時	11	白さび病 予・治	inochioオペラフラワー乳剤	2,000倍	発病初期	3回
	25B	ハダニ類	ダニコングフロアブル※	2,000倍	発生初期	1回
発蕾時	21A, 39	白さび病・アザミウマ類 アブラムシ類 等 予	ハチハチ乳剤	1,000倍	発生・ 発病初期	4回
	23	ハダニ類・アザミウマ類 アブラムシ類	inochioセイレーンフロアブル	2,000倍	発生初期	3回
破蕾時	3	白さび病・うどんこ病 予・治	アンビルフロアブル	1,000倍	発病初期	7回
	6	ハダニ類・アザミウマ類	アグリメック※	500倍	発生初期	5回

対象病害虫によって希釈倍数が異なる場合があります。ラベルの確認をしてから使用してください。

※花き類・観葉植物登録

光合成能力UP!

ファイトオーツ

浸漬処理 1,000倍
葉面散布1,000倍 7～10日おき散布
植物本来の力を活性化☆

▶ 活着の改善 ▶ 抵抗性誘導物質の向上
▶ 毛細根の充実



肥料登録 生第83241号

光合成能力UP!

ファイトマジック

1,000倍 葉面散布

キレートマグネシウム+各種微量元素
★葉にテリ・ツヤ・厚みUP!
★日照不良時の代謝の向上!



肥料登録 生第87201号